

令和1年6月5日

岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科の外来診療あるいは入院診療を受けた患者さんへ

## 「髄液プログラニューリンの中樞神経腫瘍のバイオマーカーへの応用に向けた研究」への協力をお願い

岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究の対象:** 2015年4月～2019年2月に岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科(旧神経内科・老年内科)において、多発性硬化症、視神経脊髄炎、自己免疫性脳炎、アルツハイマー型認知症、軽度認知機能障害と診断された方

**研究期間:** 倫理審査委員会承認日～2024年3月31日

**研究目的・方法:** ヒトの体の中には、プログラニューリンという細胞増殖因子が存在しますが、悪性腫瘍によりその量が上昇することが、最近報告されております。上記の対象患者さんの髄液のプログラニューリン濃度を、藤田医科大学でエライザ法という方法を用い測定して、脳や髄膜に腫瘍があった患者さんの値と差があるかどうか、また差がある場合には脳の転移や髄膜播種の診断に利用することが可能であるかどうかを検討することが今回の研究目的です。電子カルテの臨床情報(年齢、性別、診断名)と検査データ(髄液細胞数、蛋白量、頭部MRI)を利用させていただきます。

**研究に用いる試料・情報の種類:** 岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科の外来・入院患者さんで、下記研究課題で検体の二次利用の同意が得られており、髄液が保存されているものを使用します。そのため、新たに検体を採取することはありません。

認知症の早期診断・病態解明およびバイオマーカーの開発を目的とした血清・髄液の解析(28-78)

自己免疫性神経筋疾患の抗神経筋組織抗体の検出(27-43)

自己免疫性脳炎における自己抗体の標的蛋白質の同定(27-420)

多発性硬化症・視神経脊髄炎の病態におけるプログラニューリンの役割の解明(30-027)

**外部への試料・情報の提供:** 試料・情報から個人を識別できる情報を削除し独自の符号を付す作業を行い、患者さんの個人情報が出ないように研究参加施設である藤田医科大学に送付いたします。

**研究組織:**

【研究代表者】

所属: 岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野 職名: 准教授

氏名: 木村暁夫

### **【参加施設研究責任者】**

所属：社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 職名：病院長代理 鶴見 寿

所属：藤田医科大学 医療科学部 病態制御解析学部門 職名：准教授

氏名：山本 康子

### **研究への参加辞退をご希望の場合**

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

### **研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反**

研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

### **連絡先**

岐阜大学医学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野

電話番号 058-230-6254

氏名：木村暁夫

### **研究責任者**

岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野 職名：教授

氏名：下畑享良